

市民クラブ

投票率低下への対策

問 今回の統一地方選挙における投票率低下を受け、今後どのような対策をとるのか、また、大学構内への期日前投票所の設置について見解を伺いたい。

答 公職選挙法の改正案が成立したことから、選挙権年齢が18歳以上へ改正され、若者世代への啓発がますます重要な課題となる。選挙を身近に感じてもらうために、小中高校に対し投票箱などの貸出を行っているが、その際に、選挙のしくみを説明するなど出前授業を併せて行うことを呼び掛けていく予定である。また、大学構内への期日前投票所の開設に向けては、大学側と具体的な協議を行っていききたい。

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

問 企業に働く人、特に若い人がまちづくりに参加するために有効な手立てと考えるが、その支援について、市の基本姿勢を伺いたい。

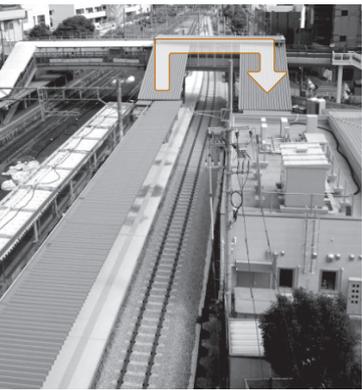
答 充実感を持ちながら働くとともに、仕事以外でも多様な生き方が選択できるとされるワーク・ライフ・バランスについては、国や県の施策とも連動しながら、民間企業に対し、地域活動に

対する理解を促すなど、さまざまな取り組みを強化していきたい。また、若い世代の地域活動への参加は重要であるため、まちづくり活動へ参加しやすい地域の土壌づくりを進めていく。

JR浦上駅を利用する障がい者への配慮

問 JR浦上駅の下り線のホームへはこれまで平面で移動できたが、連続立体交差事業の工事により階段を利用しなければならなくなった。体が不自由な人のためにどう対処されるのか伺いたい。

答 工事期間中における障がい者や高齢者の皆様への対応は、事業主体の県やJR九州が、階段へ手すりを設置したり、車椅子の場合を除き、階段の昇り降りの際に介助を行ったりと、できる限りの対応を行っているが、エレベーターの設置は、物理的・費用的に困難であると伺っている。浦上駅は、工事完了後はバリアフリー対応駅となるが、完成するまでの間、より一層の対応の充実について県やJR九州と協議していきたい。



▲現在の浦上駅の下り線ホームから改札までの順路

公明党

城山小学校被爆校舎を初めとする被爆4遺構の保存と活用

問 「城山小学校被爆校舎」、「浦上天主堂旧鐘楼」、「旧長崎医科大学門柱」、「山王神社二の鳥居」の被爆4遺構の指定文化財化に向けた取り組み及び今年11月に開催されるパグウォッシュ会議での活用について伺いたい。

答 被爆4遺構は、原子爆弾の凄まじさを伝える貴重な遺構であり、末永く後世に継承するため、指定文化財化への取り組みを進めており、市長も文化庁長官へ協力要請を行った。また、パグウォッシュ会議では、遺構見学のための「モデルコース案内」を作成しているほか、ガイド等も含め、関係機関と連携して準備を進めている。



▲城山小学校被爆校舎
携して準備を進めている。

主権者教育の推進

問 義務教育現場での主権者教育の推進への取り組みを伺いたい。また、子どもたちが議員となり、市長と議論を交わす「模擬議会」を開催する考えはないか。

答 学校の授業では、政治の働きや仕組みを学んでいるほか、中学校の生徒

会活動では、自分たちの生活のきまりなどを全校生徒で審議する自治活動を行っている。今年度は、実際の選挙機材を用いて「模擬選挙」を実施する予定としている。このような、当事者意識を高める取り組みについては、模擬議会も含め、他都市の状況を踏まえて研究していきたい。

創生自民

あぐりの丘

問 あぐりの丘の来園者数をふやすため、民営化やそこにしかない目玉等を作る考えがないのか伺いたい。

答 あぐりの丘は、平成10年7月に民間企業により開園し、民間企業が撤退した平成18年4月から、市が運営・維持管理を行っている。完全民営化は困難と考えるが、民間のノウハウを活用できる指定管理者制度の導入について検討を進めたい。



▲噴水のある池。子どもたちに大人気
また、あぐりの丘に行きたいと思わせるような工夫やアイデアについても、この里の自然、農業、市民交流というキーワードを踏まえて検討したい。